

美里にベースキャンプ

連合

石巻でボランティア活動 被災者のニーズ最優先に

連合（古賀伸明会長）は18日、東日本大震災の津波で被災した石巻市でボランティア活動を行うため、美里町藤ヶ崎町の遠田地区労働福祉会館に災害救援ベースキャンプを設置した。全国から集まった組合員たちが、19日から同会館を拠点に石巻へ向かい、瓦礫除去などの作業に動んでいる。

今回の震災を受け、らによる100人規模のボランティア活動を受け、市内に入ったヘドロ撤去作業に備え、3月31日から高城など、なをを手伝っている。加開労組の組合員、東北3県に順次派遣、石巻市で活動する人た

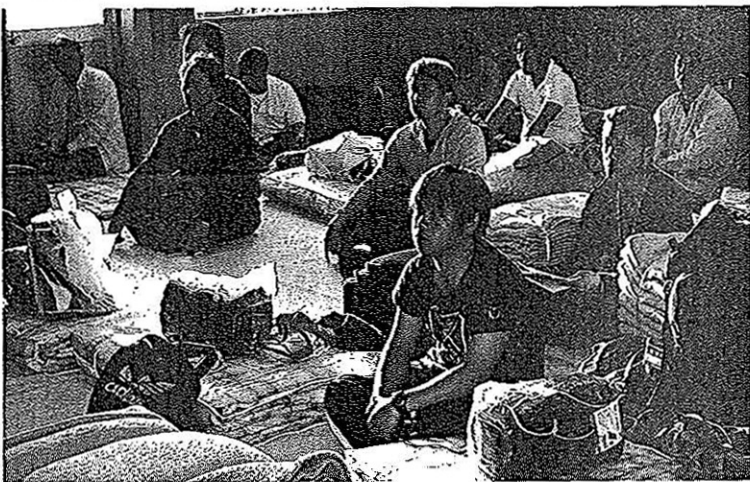


遠田地区労働福祉会館入り口に掲げられた看板

ちほ、これまでは仙台市に置いたベースキャンプから毎日活動に向かっていた。しかし、他のボランティアも被災地に入り始め、石巻に向かうため利用していた三陸道が渋滞するように。ひどいときは、片道2時間半かかる日もあったという。

開設式では、連合宮城の佐藤剛事務局長（同町出身）が「各組合に献身的な活動をしていただき感謝しています。安全第一で作業していただき、戻ってからは食事などをして経済面でも貢献してほしい」とあいさつ。

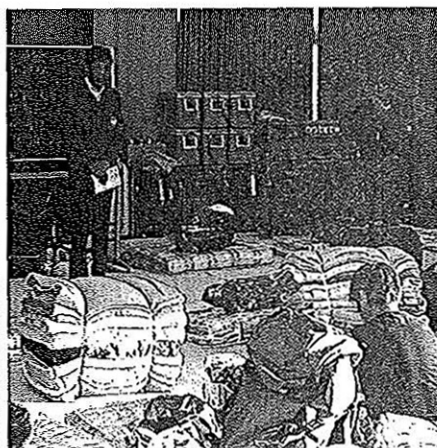
石山敬貴衆院議員（宮城4区）も駆け付けた。このため、三陸道を使わず、片道約40分程度の同会館にもベースキャンプを置くことに。第一陣として、北



全国からボランティアで入った各労組の組合員たち



石山衆院議員も駆け付けた



開設式であいさつする佐藤事務局長

しながら働いていた。打ち合わせでは、連合総合労働局・労働条件局の須田孝局長が「被災者のニーズを最優先に活動することを確認した。ボランティアは1週間交代とし、6日間活動する。毎日午前8時全休、活動日の朝食は、活動日の朝昼

を基本とする。被災地全体のためにも確認した。ボランティアは1週間交代とし、6日間活動する。毎日午前8時全休、活動日の朝食は、活動日の朝昼

を基本とする。被災地全体のためにも確認した。ボランティアは1週間交代とし、6日間活動する。毎日午前8時全休、活動日の朝食は、活動日の朝昼